

京都市京セラ美術館開館記念展「京都の美術 250年の夢」 第1部 江戸から明治へ：近代への飛躍



編：京都市美術館
予価：2300円＋税
B5変型 240頁（予定）
ISBN978-4-8381-0598-4

1933年に日本で2番目の公立美術館として開館した京都市美術館。江戸後期の京都では、伊藤若冲や曾我蕭白をはじめ、文人画家の与謝蕪村や池大雅、円山派の始祖・円山応挙、四条派の始祖・呉春、応挙の弟子であった長沢蘆雪が活躍していました。その後の幕末から明治にかけて、新しい時代を迎えた京都の美術・工芸の発展を回顧します。2020年4月18日～6月14日開催の「京都の美術 250年の夢 第1部 江戸から明治へ：近代への飛躍」の図録。

帳合 トーハン・日販・楽天BN・中央社 委託・フリー入帳

光村推古書院 4月の新刊	ご注文数		貴店印
京都市京セラ美術館開館記念展「京都の美術 250年の夢」 第1部 江戸から明治へ：近代への飛躍 編：京都市美術館 予価：2300円＋税			
先月までの新刊	在庫	注文	
3月の新刊 作品集 京都市美術館名品百選 978-4-8381-0596-0 本体 1200円＋税	冊	冊	
3月の新刊 作品集 京都市美術館 最初的一步 コレクションの原点 978-4-8381-0597-7 本体 1200円＋税	冊	冊	

注文FAXは **075-251-2881** (お間違えのないようにお願いします)